

日本水環境学会第 59 回年会併催 テクニカルランチミーティング

「新製品 Infinity III LC を用いた PFAS のターゲット分析とサスペクトスクリーニング」

日時 2024 年 3 月 18 日（火） 12 : 20～13 : 20

会場 年会 D 会場（1 階 B32 教室）

主催 アジレント・テクノロジー株式会社

参加費 無料、昼食付（先着順、直接会場までお越しください）

演者 安田恭子（アジレント・テクノロジー株式会社）

#### 概要

パーフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物（PFAS）は、完全にフッ素化されたメチルまたはメチレン炭素原子を少なくとも一つ含むフッ素化合物と OECD で定義されています。PFAS は、1940 年代に初めて製造され、その利便性から容器や泡消火剤、油性ペンなど様々な用途で用いられてきました。しかし、近年は PFAS の環境残留性や生体蓄積性が指摘され、さまざまな規制が始まっています。特に、環境への排出・汚染は水や土壌から農畜水産物を介してヒトの健康に悪影響を及ぼす可能性が懸念されています。

弊社は、国内外の有識者とともに水道水質検査、環境水、土壌、材料、食品に含まれる PFAS の分析方法の確立に取り組んできました。本セミナーでは環境水に含まれる PFAS のサスペクトスクリーニングを中心に、分岐鎖 PFAS の分離法の検討、新製品 Infinity III LC を用いた PFAS 分析のワークフローの効率化など最新の知見をご紹介します。